

第 109 回エイズ&ソサエティ研究会議フォーラム
「ここから始まる～2012 年エイズキャンペーンの
テーマ策定に向けて」

《Part1. Tokyo》

日時：5月9日（水）午後6時半～8時

場所：ねぎし内科診療所多目的室
東京都新宿区四谷三丁目9
光明堂ビル5階
(地下鉄丸ノ内線四谷三丁目駅1番出口)

《Part2. Osaka》

日時：5月18日（金）午後6時半～8時

場所：大阪検査相談・啓発・支援センター
「chotCAST なんば」オープンスペース
大阪市浪速区難波中1-6-8
イチエイ総合ビル3階
(地下鉄御堂筋線・千日前線「なんば駅」6号出)

【問い合わせ先】

メール：jasa@asajp.net エイズ&ソサエティ研究会議事務局

電話：03-5259-1811 公益財団法人エイズ予防財団（中村、柏崎、堀内）

(フォーラムはいずれも、エイズ&ソサエティ研究会議と公益財団法人エイズ
予防財団との共催で実施します。参加費は無料です)

12月1日が世界エイズデーに定められたのは1988年のことでした。つまり、今年には25回目の世界エイズデーということになります。四半世紀の歳月を経て、なおHIV/エイズの困難な流行は続いています。一方で、抗レトロウイルス治療(ART)の進歩により、HIVに感染した人が治療を継続しながら長く社会生活を続けていくことは期待できるようになりました。最近では治療の普及がHIV感染の予防に貢献していることを示す研究報告も注目されています。

困難ではあるが、希望もある。25回目の世界エイズデーを中心にした国内啓発キャンペーンはその現実を踏まえ、現場の意見を反映したテーマ策定プロセスで始動します。東京、大阪で開くフォーラムとエイズ予防情報ネット(API-Net)による意見募集を経て、テーマ検討会議を6月に開催し、厚労省に候補案を提案する予定です。フォーラムは、12月1日を中心にしたキャンペーンの出発点であり、同時にそのメッセージは、わが国のエイズ対策を方向付ける起動力にもなります。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

意見募集の詳細についてはAPI-Netをご覧ください。

http://api-net.jfap.or.jp/lot/2012camp_theme.html